

[自社知財部門を変革したいとの意識高い系部員のための相互研鑽会]

クレイア特許事務所の顧客であるかないかを問わずに不定期で募集しています。第1期は2021年10月から翌年3月まで（22年11月に卒塾レポート報告会）開催しました。今後の開催は未定ですが、希望者（5名前後）が集まり次第で開催検討を行います。

目的	「自分の志向する理想の知財活動を推進できるように所属知財部門を変革したい」という気概のある人材を集め、この変革を成し遂げる知財トップへと駆け上ることができるよう、必要な戦略的思考を磨き上げる場を提供する。
対象者	企業の知財部門に属する30～40代の知的財産部員を対象とします。変革意識の高さが重要なため知財経験年数は問いませんが、参加者間での討議に参加できるには3年以上の経験がないと困難かと思えます。
場所	クレイア特許事務所 ミーティングルーム
内容	全6回の研鑽会&卒塾レポート報告会（半年後） [基本は毎月第1金曜日の18～20時]（終了後は有志で会食）
<b>第1回</b>	
<p>石原からのレクチャー&amp;質疑応答</p> <p>(1) <u>企業内知財活動の全体像</u></p> <p>①重要ミッション、②業務フロー</p> <p>(2) <u>知財活動の経営貢献とその『見える化』</u></p> <p>①経営者の意識、②貢献レベルの数値化への挑戦</p>	
<b>第2回</b>	
<p>石原からのレクチャー&amp;質疑応答</p> <p>(1) <u>IPランドスケープを通じた開発企画やM&amp;Aへの参画</u></p> <p>①中身&amp;取組み方 ②戦略的知財活動への展開 ③特許価値判断ツールの紹介</p> <p>(2) <u>知財部員の意識改革について</u></p> <p>①執着すべきは[制度・手続き]ではなく [ビジネス方向性・権利活用]</p> <p>②知識集約を個人から組織へシフトさせる取り組み案</p>	

### 第3回

塾生個人の変革構想案を披露

### 第4回

各人の変革構想案に対して相互アドバイス

### 第5回

ゲストスピーカーによる講演&質疑応答

### 第6回

総まとめ（磨き上げた変革構想を披露） [各複製の講師を招待]

### 卒塾レポート報告会

<報告者> 塾生

<アドバイザー> 塾生上司、卒塾生、など

[テーマ]

① 経営数字と知財活動とのリンク

（経営者への知財活動レポートのあるべき姿）

② イノベーション促進への知財部門施策

（案列挙だけでなく、成果をあげるための展開方法も）

- ・参加者2～3人でどちらかのテーマに挑戦
- ・情報収集（書籍&論文&ネット&ヒアリング）→議論・検討→  
レポート作成→半年後に報告会